

1. 構造名：
表面化粧スラグせっこう板張／木製下地軒裏

2. 申請仕様の寸法：
申請仕様の寸法を表1に示す。

表1 申請仕様の寸法

項目	申請仕様
軒の出	100～1000mm
軒の幅	構造計算等により構造安全性が確かめられた寸法
軒の形状	勾配

3. 申請仕様の主構成材料：
申請仕様の主構成材料を表2に示す。

表2 申請仕様の主構成材料

項目	申請仕様
被覆材	<p>材料：①又は②</p> <p>①化粧スラグせっこう板(国土交通大臣認定不燃材料：NM-8315)</p> <p>②スラグせっこう板(国土交通大臣認定不燃材料：NM-8314)</p> <p>形状</p> <p>厚さ：8(−0.4)mm以上</p> <p>働き幅：910～1820mm</p> <p>長さ：1000mm以下</p> <p>表面形状</p> <p>仕様：1)、2)又は3)</p> <p>1)平滑</p> <p>2)エンボス(但し、最小厚さ8(−0.4)mmを確保)</p> <p>3)溝加工(但し、最小厚さ8(−0.4)mmを確保)</p> <p>通気孔</p> <p>仕様：1)又は2)</p> <p>1)あり(有孔板)</p> <p>通気孔直径：8mm以下</p> <p>通気孔間隔：25mm以上</p> <p>通気孔位置：</p> <p>軒の出端部より15mm以上</p> <p>軒の幅端部より15mm以上</p> <p>通気孔面積(1孔あたり)：0.5024cm²以下</p> <p>2)なし(無孔板)</p> <p>密度：1.05(±0.15)g/cm³</p> <p>表面塗装</p> <p>種類：①～⑧の一</p> <p>①アクリル樹脂系塗料</p> <p>②アクリルゴム樹脂系塗料</p> <p>③アクリルウレタン樹脂系塗料</p> <p>④アクリルシリコーン樹脂系塗料</p> <p>⑤ウレタン樹脂系塗料</p> <p>⑥エポキシ樹脂系塗料</p> <p>⑦フッ素樹脂系塗料</p> <p>⑧なし</p> <p>塗布量：200g/m²以下(有機質固形分量)</p>

つづき

<p>被覆材</p>	<p>目地形状 仕様：①～⑤の一(図11参照) ①面取り突付け目地 ②突付け目地 ③面取り合いじゃくり目地 ④合いじゃくり目地 ⑤金属ジョイナー目地 金属ジョイナーの材質：1)～9)の一 1)塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯(JIS G 3312) 2)電気亜鉛めっき鋼板及び鋼帯(JIS G 3313) 3)溶融アルミニウムめっき鋼板及び鋼帯(JIS G 3314) 4)ティンフリースチール(JIS G 3315) 5)溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板及び鋼帯(JIS G 3317) 6)塗装溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板及び鋼帯(JIS G 3318) 7)塗装ステンレス鋼板(JIS G 3320) 8)溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯(JIS G 3321) 9)塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯(JIS G 3322) 厚さ：0.2mm以上 塗装 材質：a)～f)の一 a)アクリル系 b)フッ素系 c)ウレタン系 d)エポキシ系 e)シリコーン系 f)ポリエステル 膜厚：30μm以下 形状：1)又は2)(図10参照) 1)H型 2)平型</p>
<p>熱膨張性シート(被覆材に通気孔がある場合)</p>	<p>材料：ブチル系熱膨張性シート 組成(質量%)： 無機充てん材 65.8 熱膨張性黒鉛 8.0 ブチルゴム 11.0 石油樹脂 15.2 厚さ：1mm以上 発泡倍率：10倍 取付位置：通気孔中心位置から15mm以上</p>
<p>野縁</p>	<p>材料：日本農林規格に適合する針葉樹の下地用製材又は下地用集成材 寸法：30×40mm以上 取付間隔：軒の出方向480mm以下</p>

4. 申請仕様の副構成材料：

申請仕様の副構成材料を表3に示す。

表3 申請仕様の副構成材料

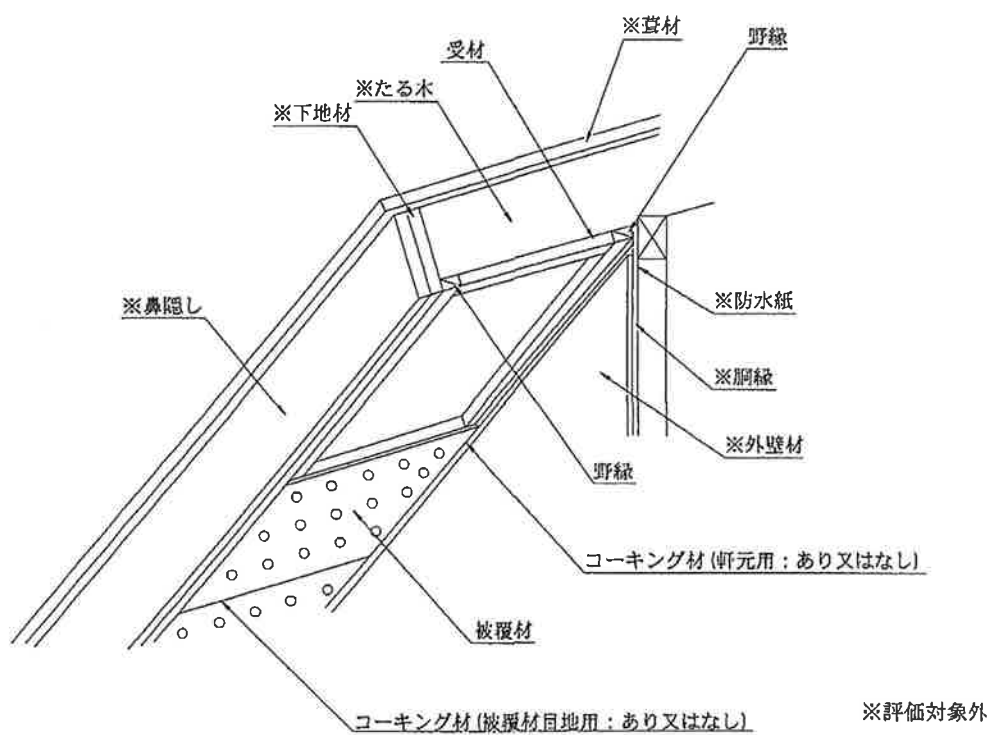
項目	申請仕様
受材	材料：日本農林規格に適合する針葉樹の下地用製材又は下地用集成材 寸法：30×40mm以上 取付間隔：軒の幅方向455mm以下
留付材	被覆材固定用： 材料：①～⑤の一 ①くぎ 種類：1)、2)又は3) 1)丸くぎ 2)スクリークぎ 3)リングくぎ 寸法：胴部径φ2.2×長さ38mm以上 材質：a)又はb) a)ステンレス鋼製 b)鋼製 ②鉄丸くぎ(JIS A 5508) 寸法：N38以上 ③タッピンねじ ④ドリリングタッピンねじ ⑤木ねじ ③～⑤の寸法：呼び径φ2.0×長さ25mm以上 ③～⑤の材質：1)～7)の一 1)冷間圧造用炭素鋼線材(JIS G 3507-1) 2)冷間圧造用炭素鋼線(JIS G 3507-2) 3)冷間圧造用ステンレス鋼線(JIS G 4315) 4)軟鋼線材(JIS G 3505) 5)機械構造用炭素鋼鋼材(JIS G 4051) 6)ステンレス鋼線材(JIS G 4308) 7)ステンレス鋼線(JIS G 4309) 留付間隔：軒の出方向125mm以下、軒の幅方向150mm以下
	野縁固定用： 材料：①～⑤の一 ①くぎ 種類：1)、2)又は3) 1)丸くぎ 2)スクリークぎ 3)リングくぎ 寸法：胴部径φ2.75×長さ50mm以上 材質：a)又はb) a)ステンレス鋼製 b)鋼製 ②鉄丸くぎ(JIS A 5508) 寸法：N50以上 ③タッピンねじ ④ドリリングタッピンねじ ⑤木ねじ ③～⑤の寸法：呼び径φ3.0×長さ40mm以上

つづく

つづき

<p>留付材</p>	<p>③～⑤の材質：1)～7)の一</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 冷間圧造用炭素鋼線材 (JIS G 3507-1) 2) 冷間圧造用炭素鋼線 (JIS G 3507-2) 3) 冷間圧造用ステンレス鋼線 (JIS G 4315) 4) 軟鋼線材 (JIS G 3505) 5) 機械構造用炭素鋼鋼材 (JIS G 4051) 6) ステンレス鋼線材 (JIS G 4308) 7) ステンレス鋼線 (JIS G 4309) <p>留付間隔：軒の出方向480mm以下、軒の幅方向455mm以下</p> <p>受材固定用： 材料：①～⑤の一</p> <p>①くぎ 種類：1)、2)又は3)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 丸くぎ 2) スクリューくぎ 3) リングくぎ <p>寸法：胴部径φ2.75×長さ50mm以上 材質：a)又はb)</p> <ol style="list-style-type: none"> a) ステンレス鋼製 b) 鋼製 <p>②鉄丸くぎ (JIS A 5508) 寸法：N50以上</p> <p>③タッピンねじ ④ドリリングタッピンねじ ⑤木ねじ</p> <p>③～⑤の寸法：呼び径φ3.0×長さ40mm以上</p> <p>③～⑤の材質：1)～7)の一</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 冷間圧造用炭素鋼線材 (JIS G 3507-1) 2) 冷間圧造用炭素鋼線 (JIS G 3507-2) 3) 冷間圧造用ステンレス鋼線 (JIS G 4315) 4) 軟鋼線材 (JIS G 3505) 5) 機械構造用炭素鋼鋼材 (JIS G 4051) 6) ステンレス鋼線材 (JIS G 4308) 7) ステンレス鋼線 (JIS G 4309) <p>留付間隔：軒の出方向400mm以下、軒の幅方向455mm以下</p>
<p>コーキング材</p>	<p>被覆材目地用： 材料：①～⑤の一</p> <ol style="list-style-type: none"> ①なし ②アクリル系コーキング材 ③シリコーン系コーキング材 ④変成シリコーン系コーキング材 ⑤ウレタン系コーキング材 <p>使用量：20(-2)g/m以上</p> <p>軒元用： 材料：①～⑤の一</p> <ol style="list-style-type: none"> ①なし ②アクリル系コーキング材 ③シリコーン系コーキング材 ④変成シリコーン系コーキング材 ⑤ウレタン系コーキング材 <p>使用量：20(-2)g/m以上</p>

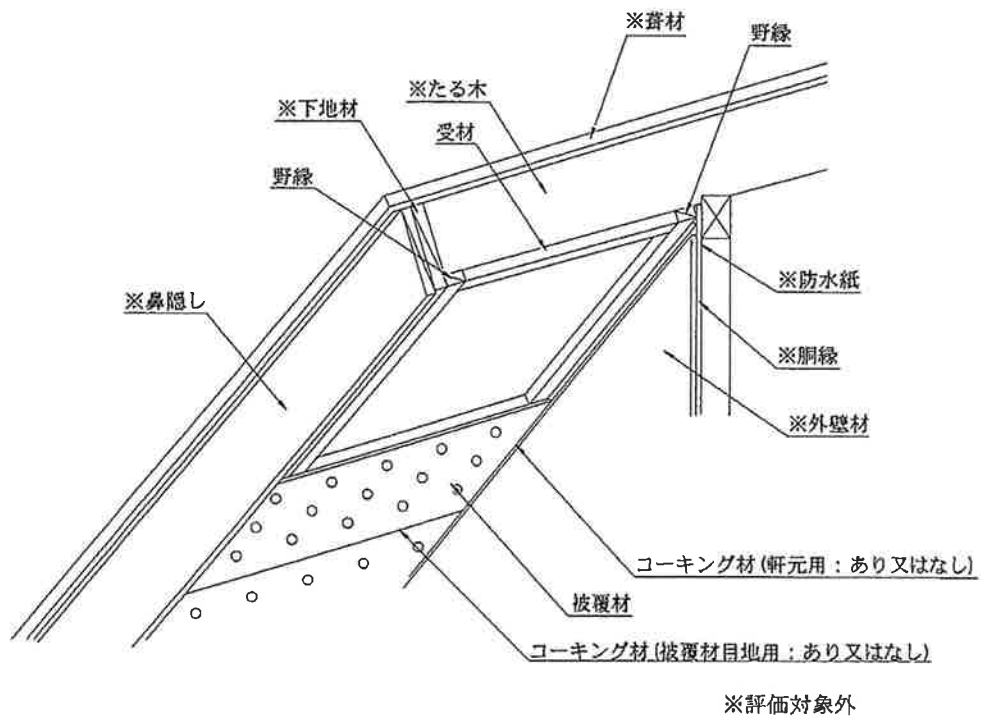
単位mm



透視図
(被覆材：有孔板・勾配仕様 軒の出100)

図1 構造説明図

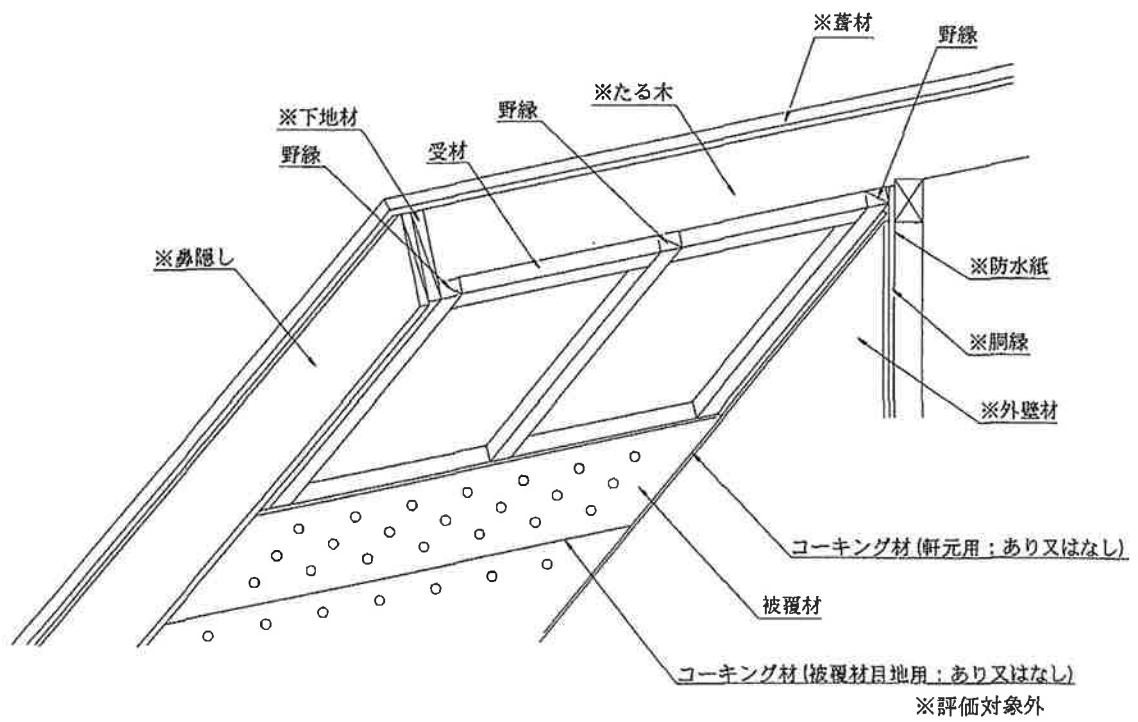
単位mm



透視図
(被覆材：有孔板・勾配仕様 軒の出500)

図2 構造説明図

単位mm



透視図

(被覆材：有孔板・勾配仕様 軒の出500を超える場合)

図3 構造説明図

単位mm

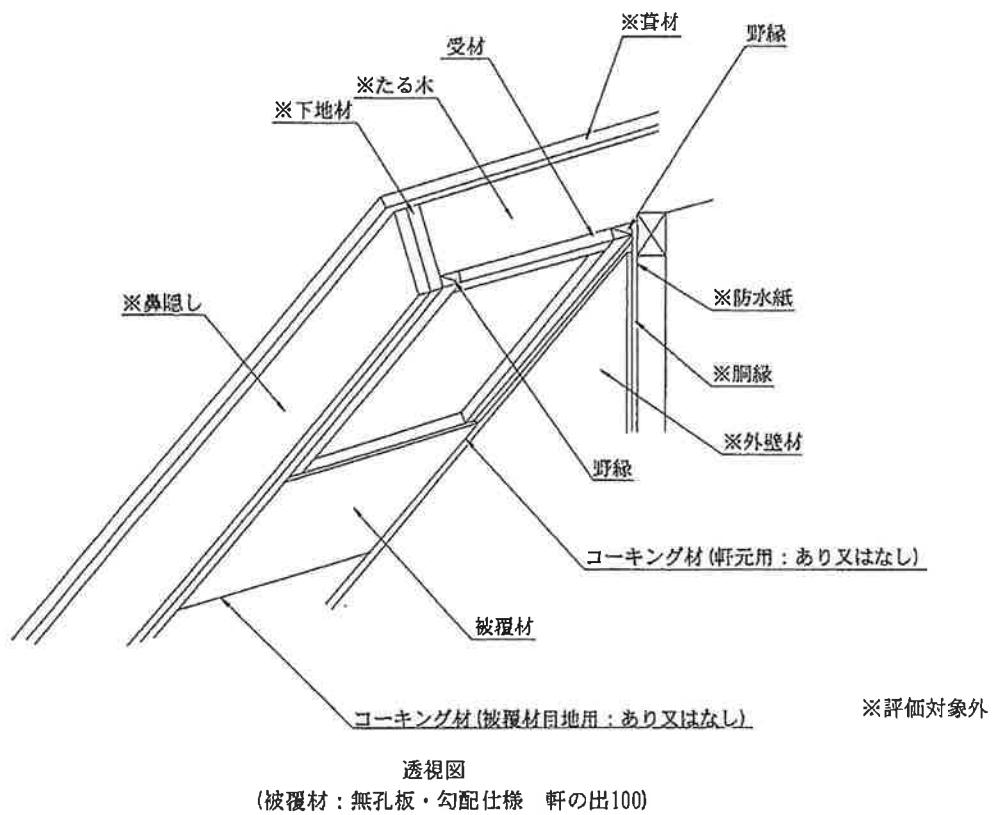
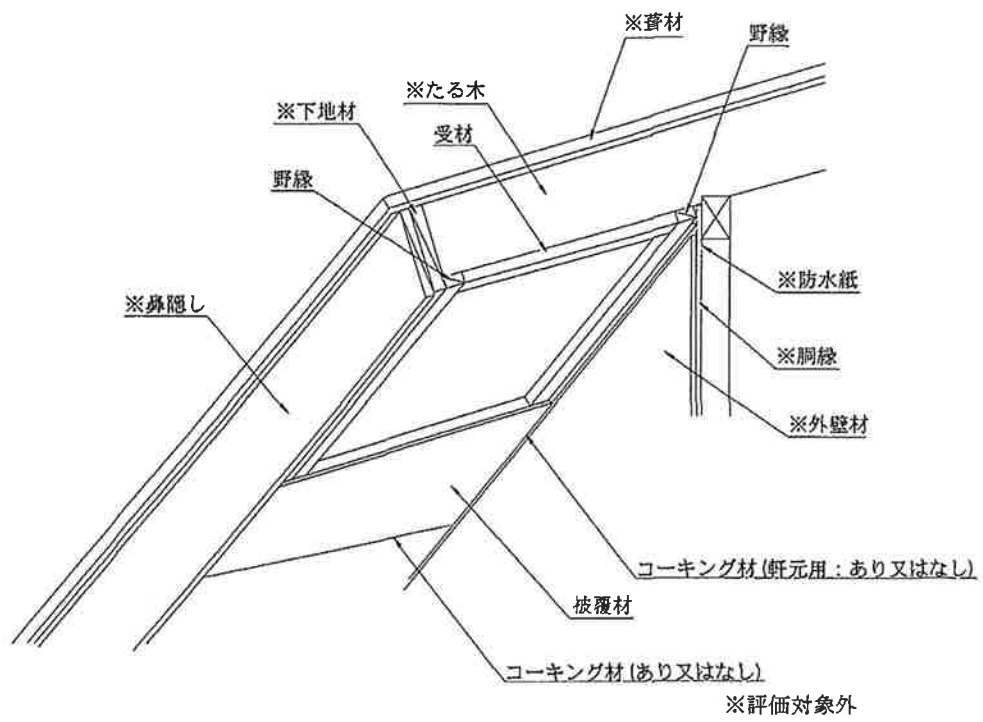


図4 構造説明図

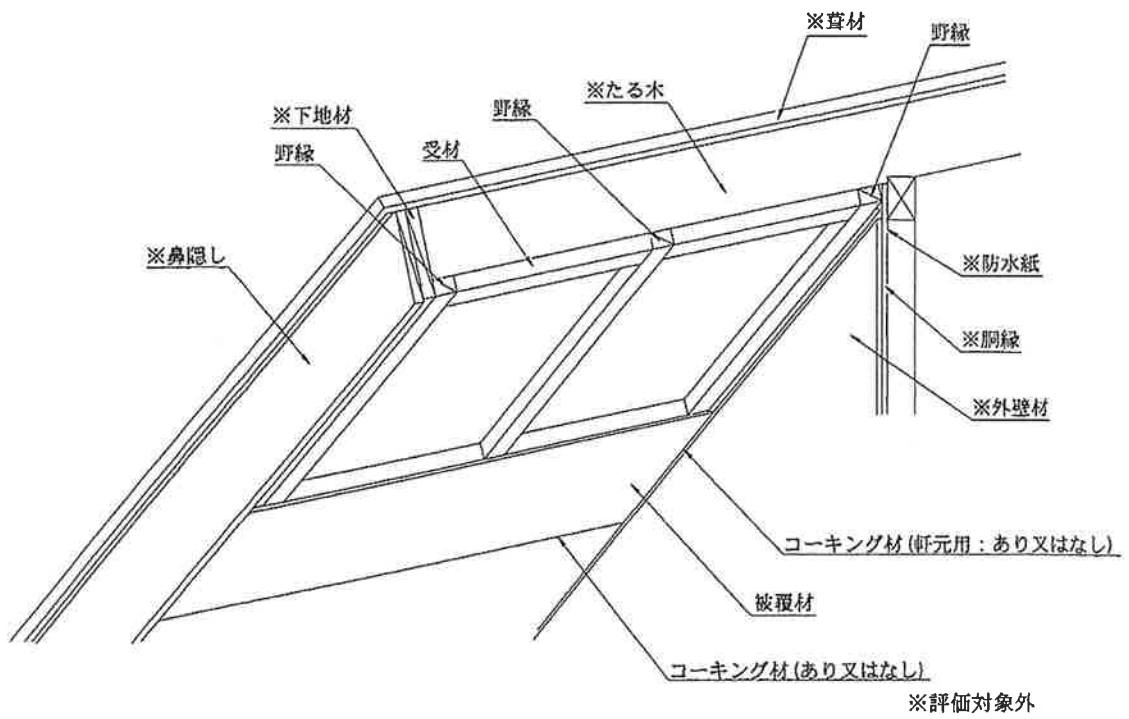
単位mm



透視図
(被覆材：無孔板・勾配仕様 軒の出500)

図5 構造説明図

単位mm



透視図

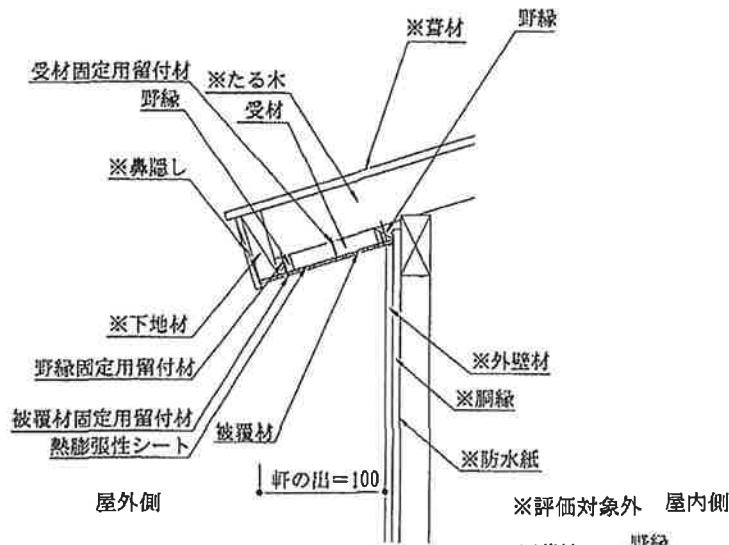
(被覆材：無孔板・勾配仕様 軒の出500を超える場合)

図6 構造説明図

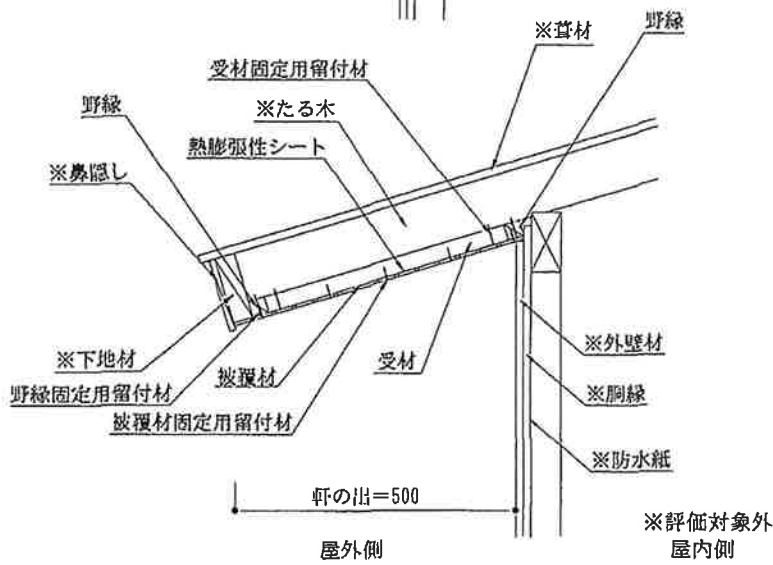
軒部詳細図(被覆材:有孔板・勾配仕様)

軒の出=100

単位mm



軒の出=500



軒の出=500を超える場合

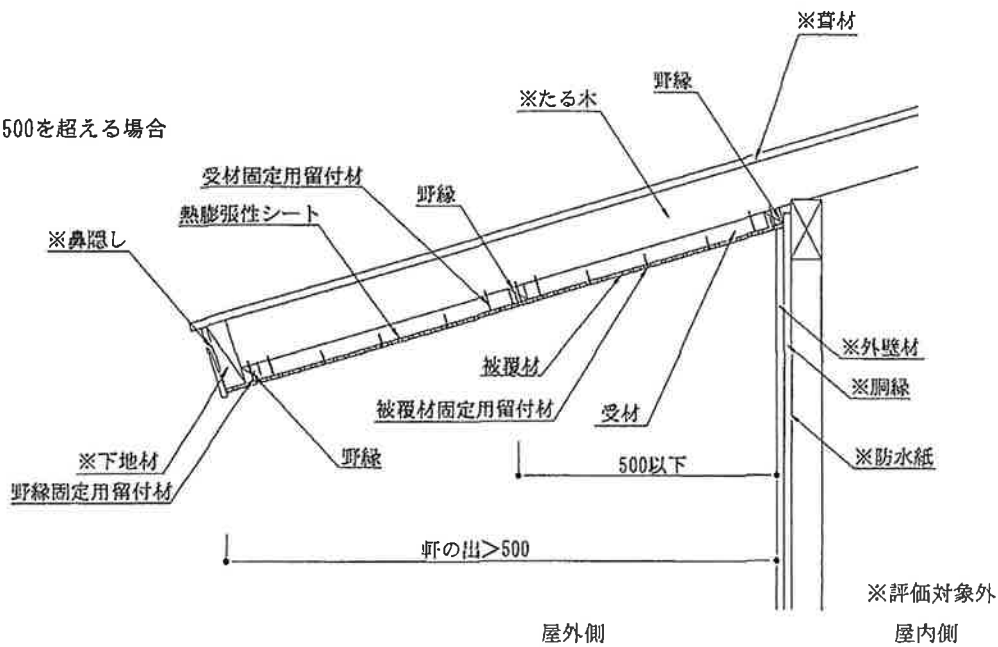
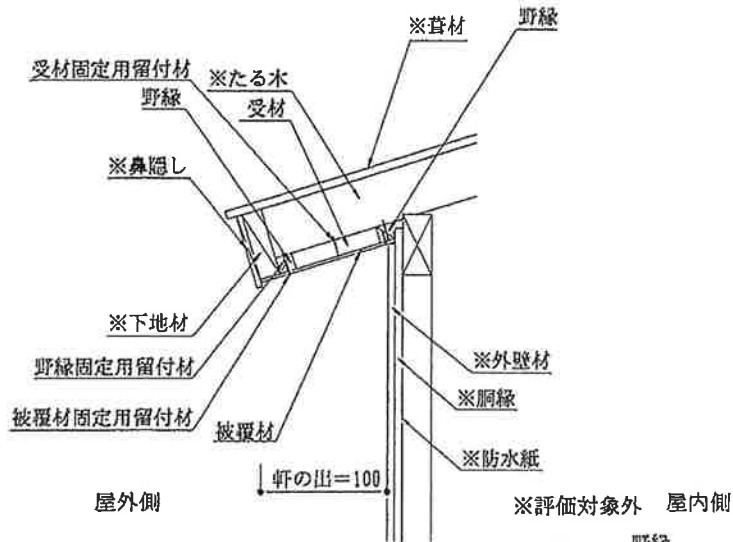


図7 構造説明図

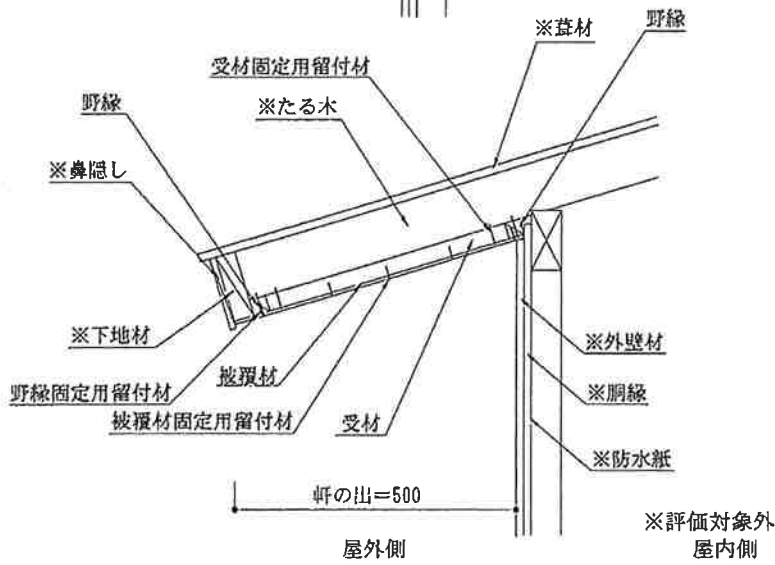
軒部詳細図(被覆材:無孔板・勾配仕様)

軒の出=100

単位mm



軒の出=500



軒の出=500を超える場合

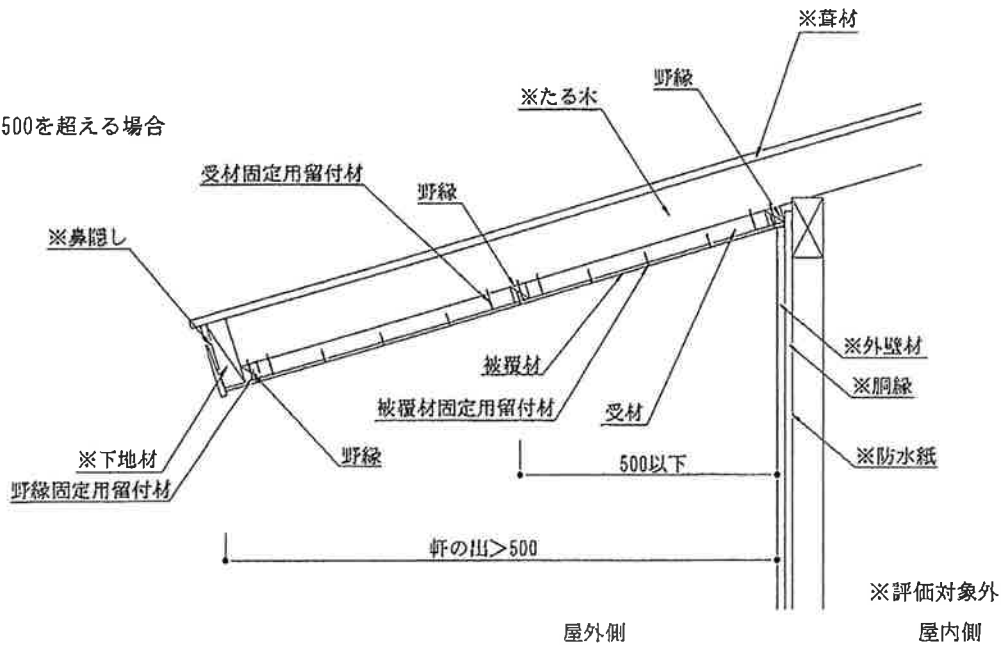
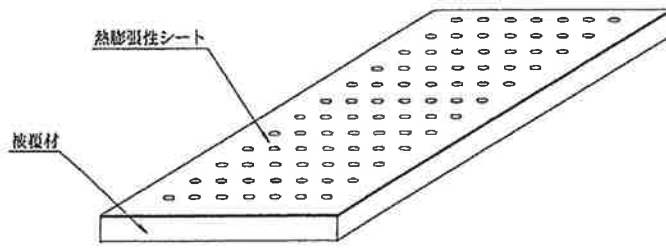
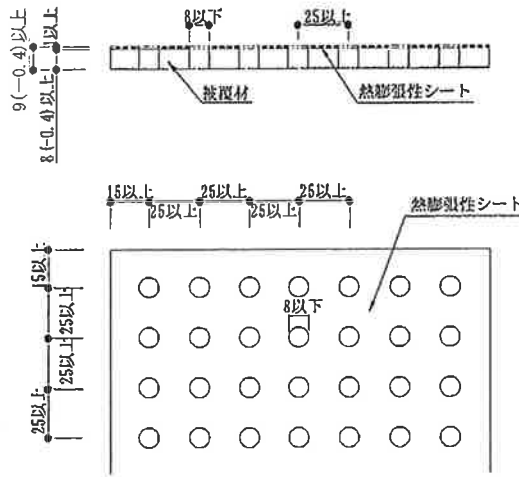


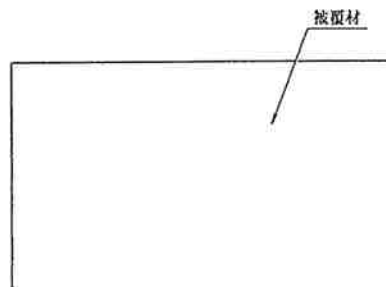
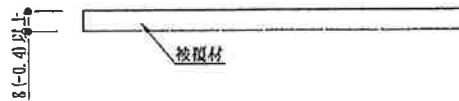
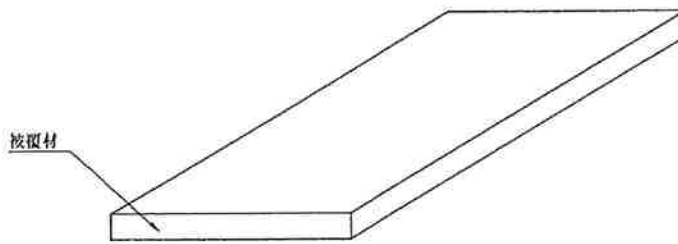
図8 構造説明図



単位mm



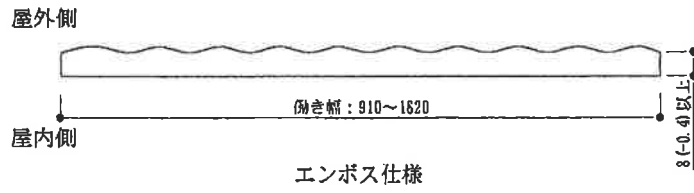
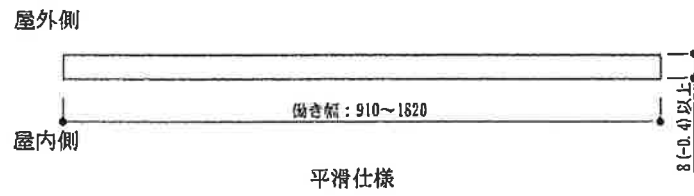
被覆材：通気孔あり(有孔板)仕様詳細図



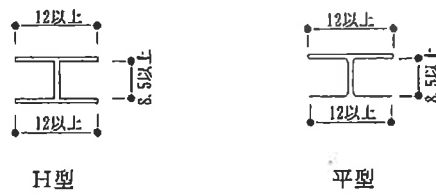
被覆材：通気孔なし(無孔板)仕様詳細図

図9 構造説明図

単位:mm



被覆材表面形状図



金属ジョイナー形状図

図10 構造説明図

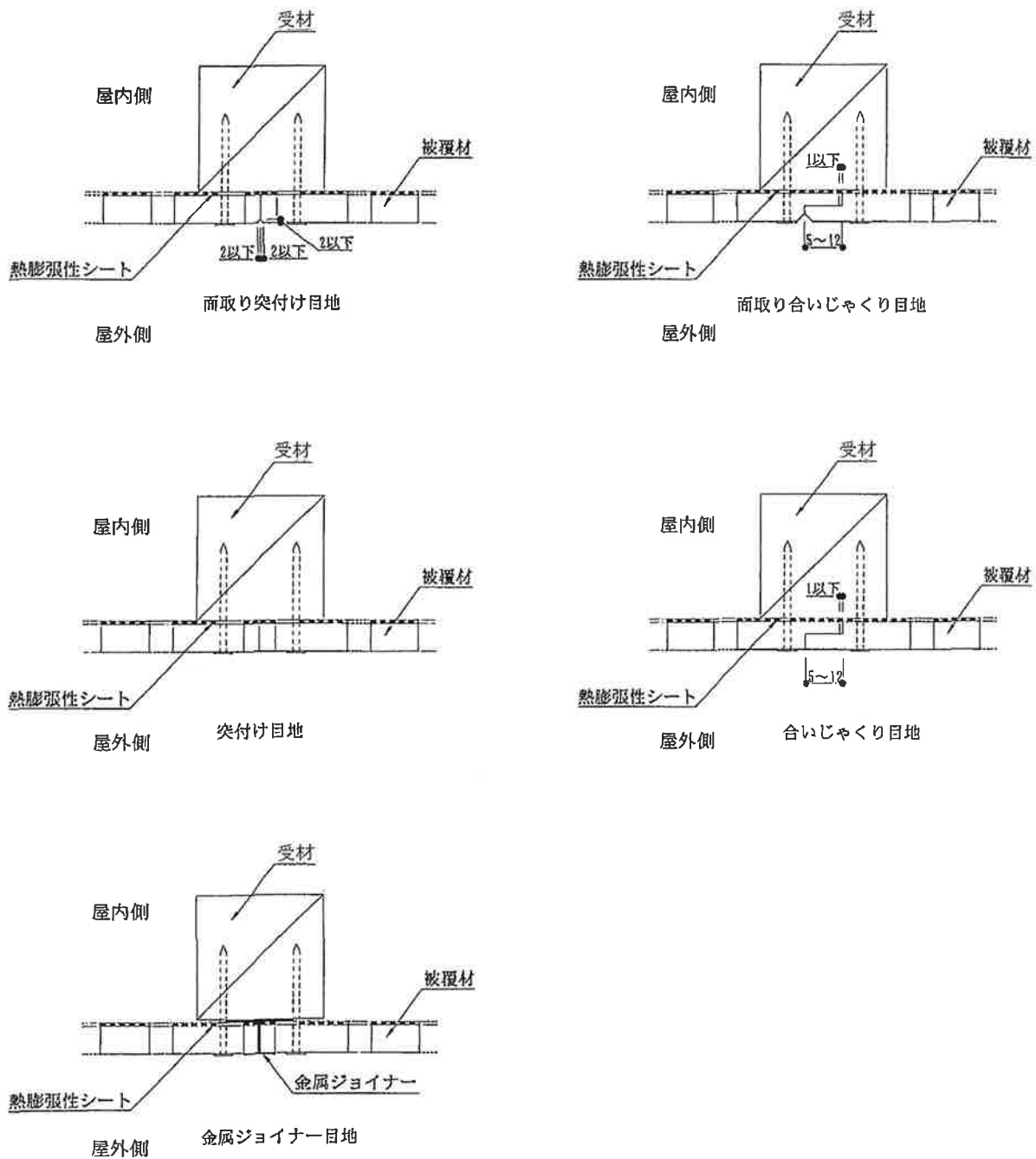


図 1 1 構造説明図

6. 施工方法：

施工図を図12及び図13に示す。

施工は以下の手順で行う。

(1) 野縁の取り付け

野縁は下地材、たる木、壁躯体等に野縁固定用留付材を用いて固定する。

(2) 受材の取り付け

受材はたる木に受材固定用留付材を用いて固定する。

(3) 被覆材の取り付け

被覆材は野縁、受材等に被覆材固定用留付材で固定する。

(4) 目地部の処理

目地部の処理は、面取り突付け目地、突付け目地、面取り合いじゃくり目地、合いじゃくり又は金属ジョイナー目地とする。

※留意事項

・保管に関する事項

保管の際は、水や湿気を避け平らな所に積み重ねる。

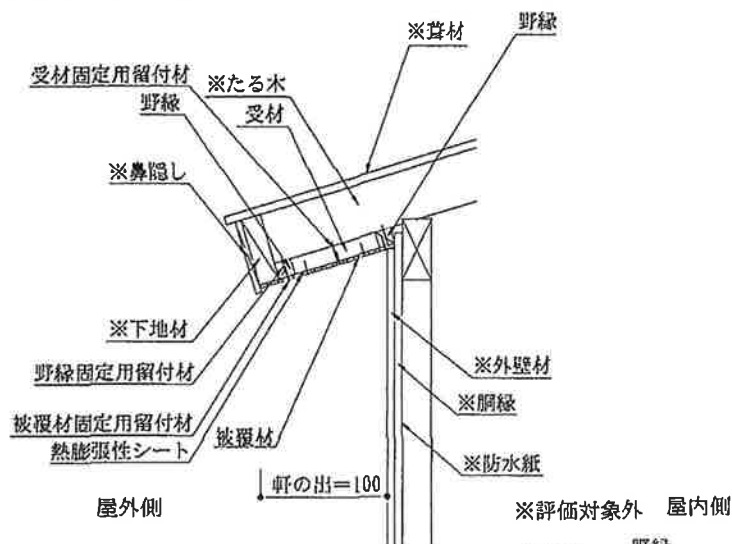
・運搬に関する事項

持ち運ぶ際は、面を垂直に持ち、特に角部に衝撃を与えたり、面に傷を付けないように注意する。

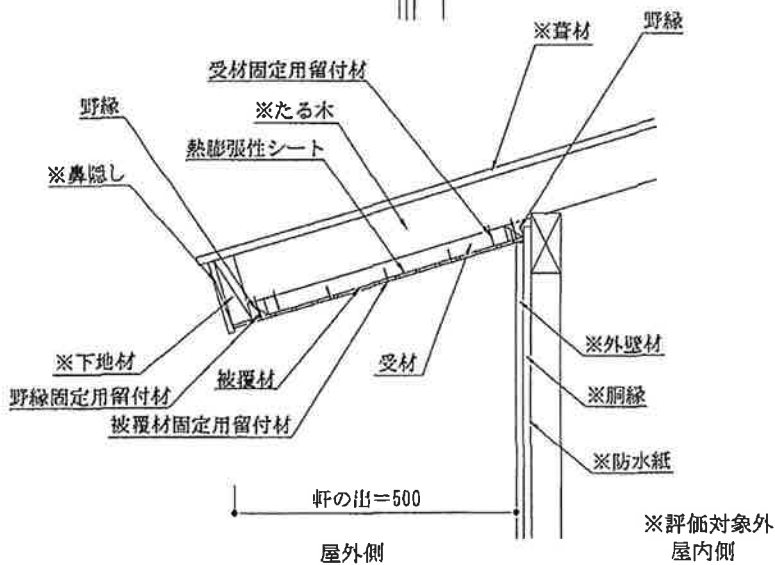
軒部詳細図(被覆材:有孔板・勾配仕様)

軒の出=100

単位mm



軒の出=500



軒の出=500を超える場合

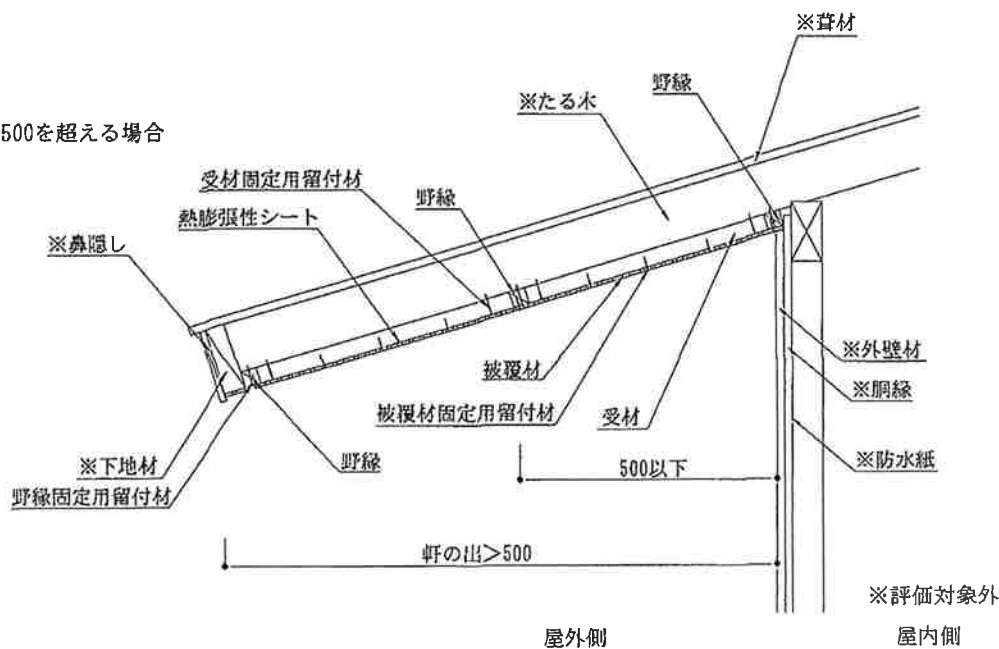
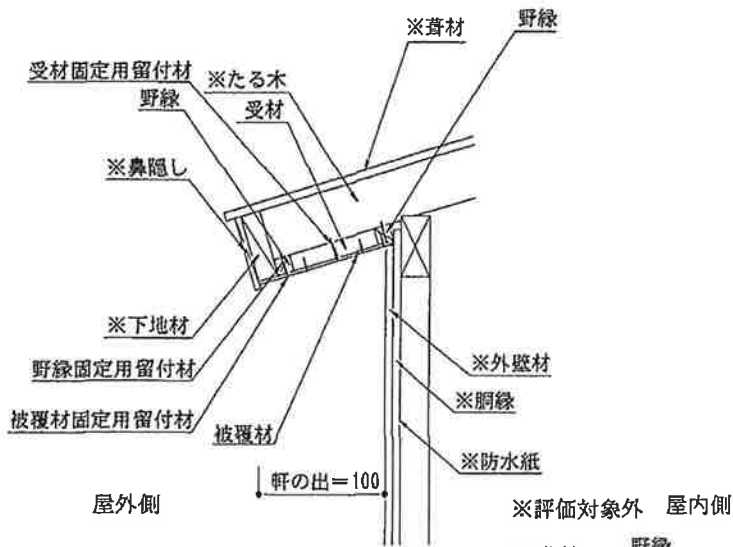


図12 施工図

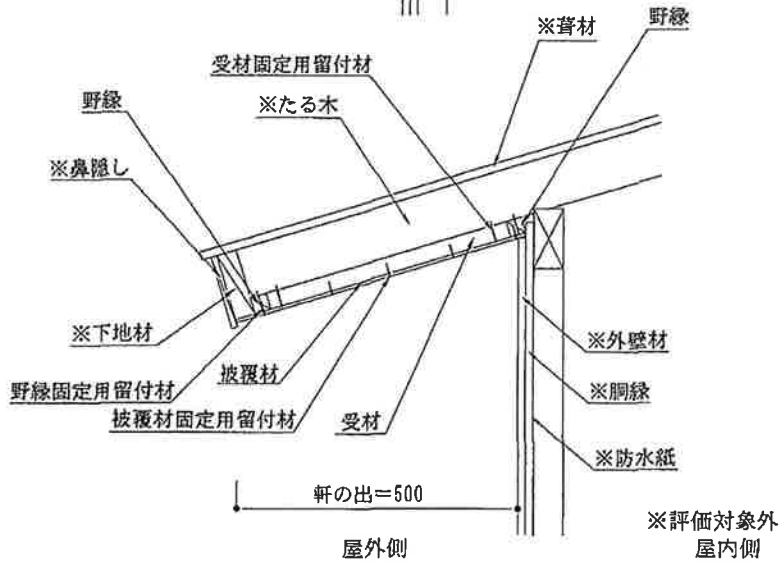
軒部詳細図(被覆材：無孔板・勾配仕様)

軒の出=100

単位mm



軒の出=500



軒の出=500を超える場合

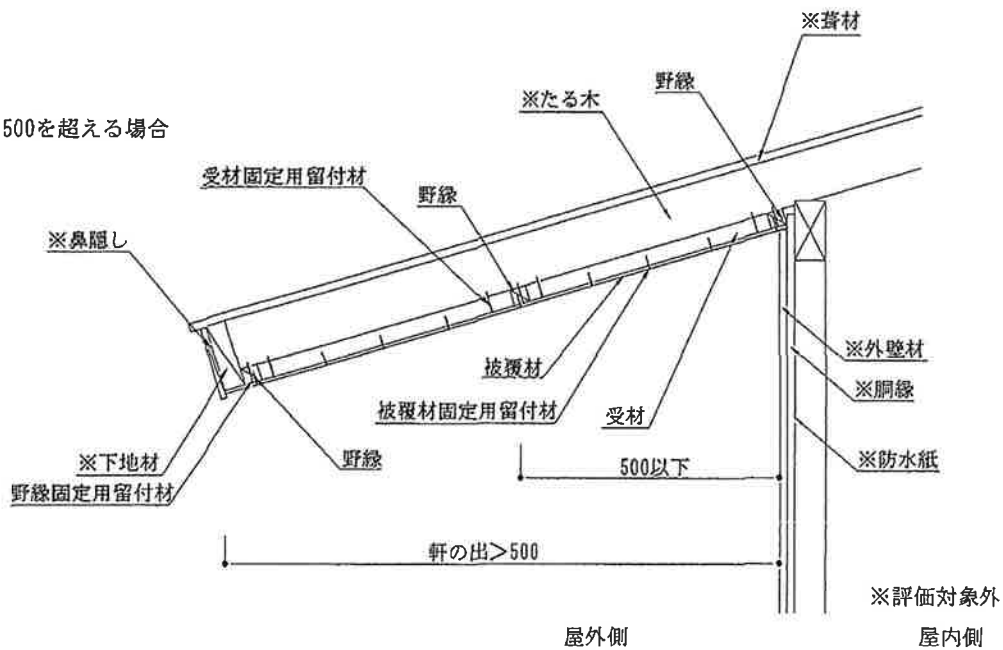


図 1 3 施工図